

瑞議発第222号  
平成31年1月29日

瑞穂町長 杉浦 裕之 様

瑞穂町議会議長 小山 典男

総務産業建設委員会

委員長 村上 嘉男

「平成30年度みずほまちなか会議」実施に伴う提言

日頃、議会の活動及び運営に対し、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、総務産業建設委員会では、昨年9月29日に「みずほまちなか会議」を開催し、テーマを「防災訓練について」とした上で、住民の方々とグループ討議や意見交換を行いました。その後、まちなか会議で頂いた意見等を踏まえ、当委員会において協議を重ねて参りました。

協議の結果、総務産業建設委員会として、防災訓練について検討すべき点を別紙のとおり提言いたします。

## 提 言 書

2011年3月11日の東日本大震災は、2万人近くの方々の命が奪われ、数多くの街々に甚大な被害がありました。瑞穂町でも2016年8月の台風9号の豪雨により、土砂崩れのほか、道路冠水は町内各地で発生し、床上浸水5棟、床下浸水15棟の多くの被害となりました。

町が消防団等、関係団体とも連携し、迅速な行動をとるとともに災害時の記録を残し、次につながる対応をされたことは大いに評価するところであり、担当部署の努力に敬意を表します。

しかしながら、まちなか会議では、まだまだ地域ごとに抱えている課題は多く、課題解決に向けた取り組み、より良い環境整備を望む声が数多く寄せられました。

当委員会では、これらの意見を踏まえ協議を重ねた結果、以下のとおり提言します。

### 一、 防災訓練の内容について

大規模災害への備えが叫ばれる中、いざという時のために防災訓練は欠かせません。しかし、毎年実施している総合防災訓練は、近年、参加者の減少が見受けられます。訓練内容の充実や参加しやすい工夫とともに、広域避難場所や町内会単位などで行われる地域に即した訓練に対しても支援の強化を講じられたい。

### 一、 自主防災組織の支援について

現在の自主防災組織は町内会役員が兼務しており、地域の実情を把握している点では初動対応には適任と思われませんが、任期や担い手の点で課題があります。また、自主防災組織の各種災害への対応能力の強化も欠かせません。自主防災組織の構成のあり方も含め、地域における初動対応力の更なる充実のための支援を講じられたい。

## 当日はこのような意見がありました

### 1. 現在のあなたの地区の防災訓練について

(日時、場所、回数、訓練内容など)

- ・年々開催時期は暑くなっているので時期の変更を考えては。
- ・暑い中、四小まで行くのが大変で年々高齢者の参加数が減少している。
- ・広域避難場所が危険地域である。(五小)
- ・町民は無関心、町側は避難訓練の重要性をアピールすべきである。
- ・非常食を町側が無料で各家庭に配布すべき。
- ・参加者は年々減少し、町内会会員以外はゼロ。
- ・震度想定が震度6なのに内容がともなっていない。
- ・防災無線の聞こえない地域があり検証が必要。
- ・AED訓練は時間がかかるので時間の余裕が欲しい。
- ・時間の制約上、実践訓練に参加できる人が限られる。
- ・避難対象地区として二中と四小の境がはっきりしない。
- ・訓練も大事だが町が想定している被害規模を知りたい。
- ・より実態に近い訓練を。
- ・小中学生の参加を促す指導も必要では。
- ・松原地区は独自訓練をしている。(毎年5月に救助・消火・仮設トイレ設置・炊き出し訓練など)
- ・仲町では炊き出し訓練を予定している。
- ・これまでの訓練も必要である。
- ・訓練がマンネリ化している。
- ・訓練時間が短くほとんどの人は見学をしているだけ。
- ・広域避難場所が元狭山地区は三小になっているが16号を隔てているためいきにくい。
- ・広域避難場所は今のままでよいと思う。(二小)
- ・防災無線が聞き取りにくい。
- ・一時集合場所と広域避難場所を各地区明確にする必要がある。
- ・参加していない人は広域避難場所を把握していないと思う。

## 2. いざという時、機能すると考えるか

- ・町内会単位で備蓄が必要。(食料・飲料水・照明器具など)
- ・地域にあった訓練を。
- ・災害の時の受け入れ態勢などの訓練はどうするのか。
- ・想定された訓練になっていないので実際に役立つのか疑問。
- ・救急箱の中身を定期的に替えてもらいたい。

## 3. 自主防災組織の役割についての認識は

- ・町内会役員が兼務しており、任期も2年であることから自主防組織が十分機能しているとはいいがたい。
- ・町内会役員の負担が大きい。
- ・役場に危機管理的部署が必要であると考ええる。
- ・役員の数少なく機能しないと思う。
- ・平成25年から開始した町内会が行っている訓練のほうが参加者が多い。(三小)
- ・自主防に任せ過ぎ、町がもっと関与すべき。

## 4. 災害時に有効な訓練についてのアイデアは

- ・訓練が町内一斉のため実践訓練ができる人が限られるので、各町内で訓練を実施したらどうか。
- ・女性視点での訓練も取り入れたらどうか。(カセットコンロを使った非常食レシピなど)
- ・ブルーシートなども必要性が高いので用意しておいたらどうか。
- ・夜間を想定した訓練を実施したらどうか。(体育館へ寝泊り)
- ・町内会役員と別の専門組織が必要。
- ・リーダーの訓練・研修が必要。
- ・毎年同じでなくテーマを決めてはどうか。
- ・自主防災組織主体であるが訓練の講師は専門家をお願いしたい。
- ・地域に関連のある災害の訓練を取り入れるべき。
- ・町内のコミュニケーションを図るため独自に防災訓練を行う。